

新潟大学 人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	子宮内膜腺管構造の加齢変化に関する研究
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	<p>対象者：新潟大学法医学教室で解剖を受けた女性</p> <p>対象期間：当院倫理委員会承認日より 2026 年 6 月 30 日</p>
③概要	<p>近年、世界中で身元不明の遺体の増加が問題となっており、遺体の年齢を推定するために骨や皮膚、血管などを用いた様々な研究が行われています。</p> <p>子宮は女性の生涯を通して、年齢によって様々な働き（初経前、月経、妊娠、出産、閉経）があり、様々な病気が発生します。子宮は筋層と内膜から構成され、内膜には腺管構造があります。子宮腺管は卵巣ホルモンにより形を変えますが、年齢で形が異なる可能性があります。我々は組織透明化技術を用いて子宮腺管の三次元構造の解析をしています。子宮腺管構造の年齢による変化を明らかにすることで遺体の子宮内膜から年齢推定ができ、子宮から発生する様々な病気の原因解明につながると考えています。</p>
④申請番号	2021-0065
⑤研究の目的・意義	<p>子宮内膜腺管構造の加齢による変化を明らかにすることを目的としています。</p> <p>子宮内膜腺管構造の加齢変化を明らかにすることで、子宮内膜腺管の構造から身元不明の遺体の年齢推定が可能になるとともに、子宮内膜関連疾患の病態解明につながる意義があると考えます。</p>
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から 2026 年 6 月 31 日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	<p>新潟大学法医学教室での解剖時に捜査機関からもたされた対象者の情報及び、子宮（子宮内膜、子宮筋層）を利用します。使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行った上で研究に使用します。採取した試料は新潟大学脳研究所で三次元構造の解析を行い、得られたデータは新潟大学産科婦人科学教室で解析します。また、得られたデータが医学の発展や人類に有益と考えられる場合には匿名化を行った学会発表や論文化する可能性があります。</p>
⑧利用または提供する情報の項目	<p>新潟大学法医学教室での解剖時に捜査機関からもたされた対象者の情報（年齢、死因に関わる情報、既往歴、合併症、内服薬など）及び、子宮（子宮内膜、子宮筋層）からもたらされる情報</p>
⑨利用する者の範囲	<p>研究責任者 新潟大学大学院医歯学総合研究科 産科婦人科 教授 榎本隆之 研究分担者 新潟大学大学院医歯学総合研究科 産科婦人科 講師 吉原弘祐</p>

	<p>助教 山口真奈子 大学院 齋藤強太 新潟大学大学院医歯学総合研究科 法医学 教授 高塚尚和 助教 舟山一寿 新潟大学脳研究所（システム脳病態学分野） 教授 田井中一貴</p>
⑩ 試料・情報の管理について 責任を有する者	新潟大学大学院医歯学総合研究科 医療情報部 教授 赤澤宏平
⑪ お問い合わせ先	<p>本研究に対する参加拒否や研究に関するご質問等ございましたら 下記に早めにご連絡をお願いします。研究に拒否された場合には迅速に保管している検体の適切な処理、論文化されていない場合にはデータの削除を行います。尚、参加を拒否された場合に、対象者、ご遺族に対して一切の不利益は生じません。</p> <p>所属：新潟大学 産婦人科 氏名：吉原弘祐 Tel：025-227-2320 E-mail：yoshikou@med.niigata-u.ac.jp</p>